

# 高校生による「私達のまちの観光 魅力アップ作戦」コンテスト優秀賞

実施期日 平成 27 年 11 月 13 日

平成 27 年 11 月 16 日付 秋田さきがけ新聞掲載

高校生が観光振興策を  
提案したコンテスト



駅弁やスイーツ開発…

## 観光振興、高校生が提案

ノース大でコンテスト

高校生による「私達のまち」を評価した。の観光魅力アップ作戦」コンテストが13日、秋田市のノースアジア大学で開かれ、県内外の10校から参加した16チーム57人が地域の観光振興策を発表した。

同大観光学科が地域振興を担う人材の育成を目的に、一昨年から実施。各チームが「観光イベントプラン」「観光マッププラン」などのジャンルを選んで発表し、田沢湖観光協会の佐藤和志会長など審査員4人が「アイデアがユニークか」「効果のあるプランか」「実現可能か」の3点について

て評価した。

高校生は、県内のバリアフリー施設を巡る「バリアフリー観光」や県産米をふんだんに使った駅弁の開発などを提案。優秀賞には、大館産のエダマメを使ったスイーツや弁当を売り出すことを提案した

大館高2年の萬田静香さん(17)、新沢まりんさん(17)、齋藤明日夏さん(17)のチームが選ばれた。萬田さんは「大館のエダマメをたくさんの人に食べてほしい」と話した。同大の道端忠孝観光学科長(62)は「どのチームも地域振興について真剣に考えてい

た。高校生にとって地域の魅力を見詰め直すいい機会になったのではないかと語った。

(齋藤 稜)